

総合戦略効果検証評価表

令和3年度実施事業評価

みんなで未来をつくるまち

～手と手を取り合い住みつづけたい しめ～

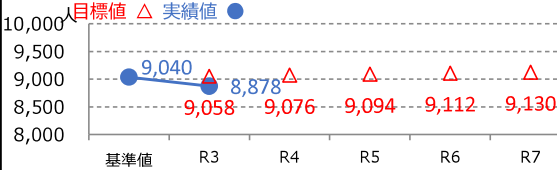
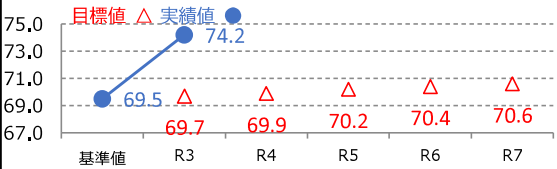


令和5年3月

 志免町 経営企画課

総合戦略効果検証評価表 (事業実施年度:令和03年度)		第2期総合戦略 計画期間<<令和3年度~7年度>>	
基本目標	1. 出産・子育ての希望をかなえる	関係課	子育て支援課、福祉課、健康課、まちの魅力推進課、住民課
関連するSDGsゴール			

1. 数値目標の達成状況

数値目標	単位	基準値	R3目標値	実績値の年次推移	判定
		目標の方向性	R3実績値		
0~17歳の子ども的人数 【総合戦略】	人	9,040	9,058		b
子どもを育てやすいまちだと感じる保護者の割合 【総合戦略】	%	69.5	69.7		a

判定:a …目標を達成している、b…目標をわずかに達成していない、c…目標を達成していない

2. 具体的な施策の実施状況と方向性

1-a 子育てしやすい保育環境を整える				所管課	
●待機児童の解消 ●保育の質の向上 ●多様なニーズに対応した保育の充実と保育環境の改善				子育て支援課	
重要業績評価指標(KPI) 該当施策番号	単位	基準値 目標の方向性	R7目標値 R3実績値	実績値の年次推移	判定
待機児童数(保育園) 【総合戦略】	人	24 ↓	0		S
1-a			0		
待機児童数(学童保育所) 【総合戦略】	人	72 ↓	0		S
1-a			0		

判定:S…目標達成、A…基準値よりも実績値が向上、B…基準値よりも実績値が低下、C…統計上実績値の把握が不可能、D…既にKPIの測定を行っていない

待機児童の解消	多様な運営主体の参画の促進を図りながら、地域の保育需要にあった認可保育園や学童保育所などの整備を行うとともに、保育士の働きやすい環境を整えるなど、保育人材の確保を進めることにより待機児童を解消します。【総合戦略】
主な取り組み状況	<ul style="list-style-type: none"> 空とぶくじら幼稚園の建替えによる定員増やあかつき幼稚園の認定こども園移行などにより、令和4年4月1日現在の待機児童は0名となった。 学童保育の待機児童解消のため、関係機関との協議を行い学校施設を活用した志免南第2学童の設置や学校敷地内に志免中央第3・第4、志免東第2学童を新たに建設し、定員を200人増加させ、学童保育の待機児童は0人となった。 保育士や学童支援員の負担軽減のため、町立保育園、私立保育園(1園)、学童保育所のICT化推進を図った。 保育士や学童支援員の処遇改善のための補助を実施した。
課題	<ul style="list-style-type: none"> 会計年度任用職員の応募が少なく、町立保育園の保育士が不足している。 私立保育園は、保育士を確保できている園とできていない園がある。
R5年度取り組み方針	国の補助制度を各施設に周知し、国補助制度を活用した保育士確保に向けて取り組む。
保育の質の向上	保育園などにおいて、子どもの最善の利益が優先して考慮されるよう研修機会の充実などにより保育の質を向上させます。【総合戦略】
主な取り組み状況	<ul style="list-style-type: none"> 町立保育園の保育士に対する独自研修の実施や研修参加を計画的に行った。 適切な保育等の提供のため、認可保育園等については県と合同で指導監査を行った。
課題	保育士が不足しているため、研修機会の(人的・時間的)確保が困難になっている。
R5年度取り組み方針	園長会等を活用し事例や課題を共有することにより、保育の質の向上に繋がる情報交換の場の構築に取り組む。
多様なニーズに対応した保育の充実と保育環境の改善	個々のライフスタイルや多様なニーズに対応した保育を充実させるとともに、保育環境を改善します。【総合戦略】
主な取り組み状況	<ul style="list-style-type: none"> 別府つくし保育園に対し、老朽化した園舎建替えに係る経費に対する補助を行うことにより保育環境の改善を図った。 多様な保育を充実させるため、私立保育園が実施する延長保育、一時預かり保育に対し補助を行った。
課題	保育士不足により私立保育園が実施する一時預かり事業が縮小傾向となっている。
R5年度取り組み方針	多様な保育を充実させるため、私立保育園が実施する延長保育、一時預かり保育に対し補助を行う。

1-b 子育てに関する情報提供や相談・交流できる環境をつくる	所管課
●子育てに関する相談体制の充実 ●子育て世帯の交流機会の充実 ●子育てに関する情報発信の充実	健康課

重要業績評価指標(KPI) 該当施策番号	単位	基準値	R7目標値	実績値の年次推移	判定
		目標の方向性	R3実績値		
子育てについて情報を知りたいときや相談したいときの相談体制に満足している町民の割合【総合戦略】	%	77.7	80.0		S
1-b		↑	88.7		

判定:S…目標達成、A…基準値よりも実績値が向上、B…基準値よりも実績値が低下、C…統計上実績値の把握が不可能、D…既にKPIの測定を行っていない

子育てに関する相談体制の充実	子育てに関する不安感や負担感を軽減できるよう、わかりやすく気軽に相談できる体制を充実させるとともに、妊娠期から子育て期まで切れ目のない支援を行います。【総合戦略】
主な取り組み状況	<ul style="list-style-type: none"> ・子育て支援センターにおいて、子育てに関する情報提供、また月齢や年齢に応じた講座や身近な子育て相談の充実を図った。 ・子育て世代包括支援センターさくらの木において、妊娠期から子育て期までの、さまざまな疑問・質問・相談に対応し、その時点での最善の選択ができるように保健師等がサポートにあたった。
課題	・子育て世代包括支援センターの認知度は上昇しているものの、半数に満たない。
R5年度取り組み方針	<ul style="list-style-type: none"> ・子育てに関する相談の充実のため体制を整備するとともに、各関係機関との連携を進める。 ・子育て世代包括支援センターを周知するとともに、関係機関との連携により状況に応じた支援の提供を行う。
子育て世帯の交流機会の充実	子育て世帯が地域から孤立することがないよう、利用者のニーズにあった子育て講座や交流の機会を充実させます。【総合戦略】
主な取り組み状況	<ul style="list-style-type: none"> ・就学前の子どもと保護者を対象に、毎月1回子育て広場を開催した。また、0歳児家庭を対象とした赤ちゃんサロンや、父親が気軽に参加できる読み聞かせ、親子で楽しめる外遊び等を実施し、子育て家庭が交流しやすい場を提供した。 ・子育てを共感し学び合う環境をつくるために、子どもの成長に合わせた子育ての悩みを解消するための教室を行い、参加する方の交流を促した。
課題	・新型コロナウイルスの感染拡大などにより、子育て世帯同士の交流が減少している。
R5年度取り組み方針	<ul style="list-style-type: none"> ・子育て支援センターを地域の子育て拠点とし、多様な学習の機会や相談の場を提供する。 ・子育て教室を周知し、より多くの方へ子育てに関する情報提供や子育て世代間の交流の機会を提供する。
子育てに関する情報発信の充実	子育てに関する行政サービスの案内や地域の情報を、様々な方法を活用し、わかりやすく、積極的に発信します。【総合戦略】
主な取り組み状況	<ul style="list-style-type: none"> ・子育てに関わる情報を掲載した小冊子を官民共同で作成し、子育て支援センターや健康課窓口で配布した。 ・幼稚園・保育園ガイドを作成し、施設の紹介や手続きについて周知した。 ・子育てモバイルサービス「すくすくしめ☆Kids」により予防接種のスケジュールの作成や接種できる医療機関の確認ができる環境を整え、子育て支援サービスについて情報発信を行うとともに、アプリ化に向けた準備を行った。
課題	・子育てモバイルサービス「すくすくしめ☆Kids」の登録率が低い。
R5年度取り組み方針	<ul style="list-style-type: none"> ・子育てに関する情報を入手しやすい手段や、学習しやすい環境を整える。 ・赤ちゃん訪問や乳幼児健診等の場で子育てモバイルサービス「すくすくしめ☆Kids」を周知し、利用を促進する。また、LINE等からの情報発信も実施し、子育て情報を目に触れやすくする。

基本目標1(総合戦略)

1-c 子どもの障がいや発達に応じた支援を充実させる	所管課
●発達に関する相談や相談体制の充実 ●特別支援保育の充実 ●発達や成長の段階に応じた切れ目のない支援体制の構築	福祉課

重要業績評価指標(KPI) 該当施策番号	単位	基準値	R7目標値	実績値の年次推移	判定
		目標の方向性	R3実績値		
加配保育士配置人数 (認可保育園等+学童保育所) 【総合戦略】	人	26	45		S
1-c		↗	49		

判定:S…目標達成、A…基準値よりも実績値が向上、B…基準値よりも実績値が低下、C…統計上実績値の把握が不可能、D…既にKPIの測定を行っていない

発達に関する相談や相談体制の充実	発達に関する相談や子育て教室で経過を見ていくことで、発達や成長の段階に応じた切れ目のない支援を早い時期から行える体制を整えます。【総合戦略】
主な取り組み状況	<ul style="list-style-type: none"> ・発達が気になる児やその家族に対しての相談に応じ、必要な情報の提供や支援を行った。 ・療育が必要な児に対して、関係機関で連携し、障害児通所サービスの利用へつなげた。 ・未就学児及びその保護者を対象に心理相談員による個別相談や発達検査を行った。
課題	<ul style="list-style-type: none"> ・児の問題だけでなく、児の家族への支援が必要になってきている。 ・心理相談員による相談ニーズがある子どもと保護者は増加傾向にあるが、相談できる人数には限りがあり、相談するために数ヶ月程度要する場合がある。
R5年度取り組み方針	<ul style="list-style-type: none"> ・町の関係各課や事業所等の関係機関と連携体制を維持し、適切な支援を行う。 ・発達が気になる子とその保護者からの相談が円滑に行えるよう、心理相談員の適切な配置を進める。
特別支援保育の充実	特別支援保育指導員 の保育園などの巡回指導により、特別支援保育 の質を向上させるとともに、加配保育士 の適切な配置を促すなど、特別支援保育を充実させます。【総合戦略】
主な取り組み状況	<ul style="list-style-type: none"> ・町立保育園の加配保育士の配置や、私立教育保育施設の加配保育士配置に対する補助を行った。 ・町内の保育園・幼稚園に対し、臨床心理士による巡回指導を行い、専門的な助言や相談に応じ障がい児に対する保育の充実を図った。
課題	<ul style="list-style-type: none"> ・対象児童の増加に対する加配保育士の確保が難しくなっている。 ・巡回指導時の対象児童が増加している。
R5年度取り組み方針	<ul style="list-style-type: none"> ・町内保育園等に対する臨床心理士による巡回指導に加えて、保育士に対する研修会を実施し特別支援保育の質の向上を進め、加配保育士を適正に配置する。
発達や成長の段階に応じた切れ目のない支援体制の構築	福祉、保健、教育、医療など関係機関の連携を強化し、発達や成長の段階に応じた切れ目のない支援を行います。【総合戦略】
主な取り組み状況	<ul style="list-style-type: none"> ・各課(福祉・健康・学校教育・子育て支援)に相談窓口があり、臨床心理士が児やその家族からの相談を受け付けており、児の状況や必要な支援に応じて情報交換や協議を行った。 ・就学前から就学後まで切れ目のない支援を行うため、関係課や関係機関と情報を共有した。 ・障がいのある子などの就学について、相談会や教育支援委員会などを実施して就学に関する支援を行った。
課題	<ul style="list-style-type: none"> ・関係課や関係機関との連携を進める中で、障がい児や発達が気になる子どもに関して、保育園・幼稚園との情報共有ができないケースもある。
R5年度取り組み方針	<ul style="list-style-type: none"> ・相談窓口や活用できる制度、施設、機関等の整理を行い、早めの適切な相談・支援が行えるよう関係機関との連携や情報提供を行う。 ・障がいのある子などの就学について、相談会や教育支援委員会などを実施して適切な就学に関する支援を行う。 ・就学前から就学後まで切れ目のない支援を行うため、関係課や関係機関と情報を共有する。

1-d 安心して子育てできる環境を整える	所管課
●妊娠から出産、子育てまでの切れ目のない支援体制の強化 ●子育てに関する経済的負担の軽減	健康課

重要業績評価指標(KPI) 該当施策番号	単位	基準値	R7目標値	実績値の年次推移	判定
		目標の方向性	R3実績値		
子ども施策に関する減免等経済的負担軽減事業数(国制度など町に実施判断がないものを除く) 【総合戦略】	件	8	9		B
1-d	↗	8			

判定:S…目標達成、A…基準値よりも実績値が向上、B…基準値よりも実績値が低下、C…統計上実績値の把握が不可能、D…既にKPIの測定を行っていない

妊娠から出産、子育てまでの切れ目のない支援体制の強化	安心して出産や育児を行えるよう、母子の健康を保持するための支援を行うとともに、心身の負担を軽減するために出産や育児に関して不安のある方や出産後のサポートなどの支援を行います。【総合戦略】
主な取り組み状況	<ul style="list-style-type: none"> 産前・産後やひとり親家庭など支援が必要な世帯に対しヘルパー派遣を行った。 産後早期に低出生体重児・未熟児・双子をもつ母親に対して、訪問を実施した。また、同じ未熟児等をもつ親同士で交流する教室を開催した。 身体的・精神的に不安定な状況にあるハイリスク妊婦を抽出し、妊娠中から出産後までを安心した状態で過ごせるよう相談・支援を行った。
課題	なし
R5年度取り組み方針	引き続き、母子の健康を保持する支援を行うとともに、出産や育児に不安のある方や出産後のサポートなどの支援を実施する。
子育てに関する経済的負担の軽減	社会経済状況や若い世代の子育てに関する意識の変化から、子育てに経済的な負担を感じる家庭が増加しているため、児童手当の支給や医療費の助成など子育て世帯への経済的な負担を軽減します。【総合戦略】
主な取り組み状況	<ul style="list-style-type: none"> 低所得世帯などの保育園・幼稚園の実費徴収に対する助成を行った。 児童手当、児童扶養手当、特別児童扶養手当の支給を行った。 中学3年生までの子どもの医療費(中学生の通院は3年度より)及びひとり親家庭の医療費に対する助成を行った。 子育て世帯でひとり親以外の非課税世帯の世帯及びコロナによる家計急変世帯に子ども1人あたり5万円の給付を行った。(ひとり親世帯への給付は県が実施) 子育て世帯へ子ども1人あたり10万円の給付を行った。
課題	コロナ禍においては国の財政支援により子育て世帯への給付金給付等を実施してきたが、コロナ後は国の財政支援が無くなるのが予想される。
R5年度取り組み方針	コロナ禍においては国の財政支援により子育て世帯への給付金等を実施してきたが、コロナ後の子育てに関する経済的負担軽減について検討する。

1-e 男女共同参画社会をつくる	所管課
●男女共同参画の推進	まちの魅力推進課

●生涯学習、文化活動の推進 該当施策番号	単位	基準値 目標の方向性	R7目標値 R3実績値	実績値の年次推移	判定
審議会などにおける女性委員の割合 【総合戦略】	%	34.2	40.0		A
1-e			35.1		

判定:S…目標達成、A…基準値よりも実績値が向上、B…基準値よりも実績値が低下、C…統計上実績値の把握が不可能、D…既にKPIの測定を行っていない

男女共同参画の推進①	性別に関わらず自分らしく生きることができる社会になるよう啓発するとともに、「志免町男女共同参画行動計画」を策定し、男女共同参画を推進します。【総合戦略】
主な取り組み状況	・「第2次志免町男女共同参画後期行動計画」の進捗状況調査を実施した。 ・志免町男女共同参画推進審議会や推進委員会の開催による進捗状況の管理を行った。
課題	・平成29年度に実施した住民意識調査では、「男は仕事、女は家庭」という考え方(固定的性別役割分担意識)に同感する人と反対する人がほぼ同じ割合であった。また、男女の地位の平等感については、男性優位であると考えられる割合が7割を超えていることから、男女間で意識の差がある。
R5年度取り組み方針	・住民に対しては、引き続き啓発活動を行い、職員に対しては、男女共同参画に関する計画等の周知を行い、意識の底上げを行う。
男女共同参画の推進②	地域や企業に対してワーク・ライフ・バランス についての周知と啓発を行います。【総合戦略】
主な取り組み状況	・町内企業にワーク・ライフ・バランスに関するチラシを郵送し、啓発を行った。
課題	・啓発手段(チラシの郵送)が限られている。
R5年度取り組み方針	・継続的にチラシ配布を行いながら、他の配布の方法やチラシ以外での啓発について検討する。

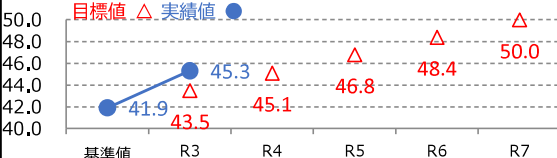
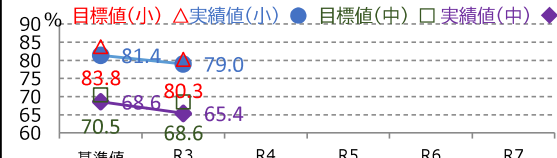
3. 検証委員会の評価

判定	検証委員会意見
○	<ul style="list-style-type: none"> ・数値目標「0～17歳の子どもの人数」については、単年度の取組がすぐに数値として反映されるわけではなく、取組を継続することで成果が出てくると考えられる。 ・KPI「待機児童数(保育園)」は目標を達成しているが、保育現場では現に保育士が不足しており、引き続き保育士の確保に取り組んでほしい。 ・子育てに関する情報提供について、インターネットを活用して情報を収集する保護者が多くなっているなか、今後モバイルサービスの登録率が上昇し、活用されることを望む。 ・子育てに関する経済的負担軽減について、すでに手厚く支援されているように思われるため、今後については近隣自治体の状況を見ながら支援策を検討してはどうか。

判定:◎…現状の取り組みを推進すべきである、○…取り組みの一部を改善する必要がある、△…取り組みの大幅な見直しや新たな取り組みを追加すべきである

総合戦略効果検証評価表 (事業実施年度:令和03年度)		第2期総合戦略 計画期間<<令和3年度~7年度>>	
基本目標	2. まちの未来を担う人材を育成する	関係課	学校教育課、社会教育課、まちの魅力推進課
関連するSDGsゴール			

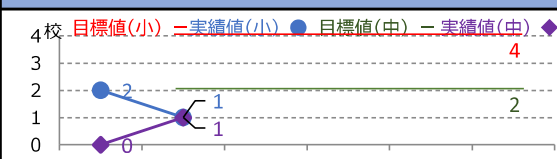
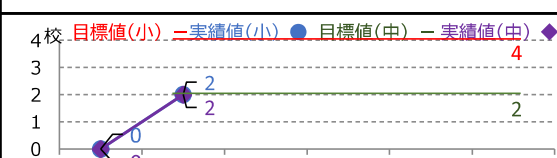
1. 数値目標の達成状況

数値目標	単位	基準値	R3目標値	実績値の年次推移	判定
		目標の方向性	R3実績値		
小中学校の教育内容と環境に満足している町民の割合【総合戦略】	%	41.9	43.5		a
将来の夢や目標を持っている児童生徒の割合(小6・中3)【総合戦略】	%	小 81.4 中 68.6	小 80.3 中 68.6		b

判定:a…目標を達成している、b…目標をわずかに達成していない、c…目標を達成していない

2. 具体的な施策の実施状況と方向性

2-a 確かな学力、体力の向上を図る	所管課
●確かな学力の向上 ●体力の向上	学校教育課

重要業績評価指標(KPI) 該当施策番号	単位	基準値	R7目標値	実績値の年次推移	判定
		目標の方向性	R3実績値		
全国学力・学習状況調査において、全ての教科区分で全国平均を上回った学校数(小6・中3)【総合戦略】 2-a	校	小学校 2校 中学校 0校	小 4校 中 2校		B
全国体力・運動能力、運動習慣等調査において体力合計点が男女とも全国平均を上回った学校数(小5男女・中2男女)【総合戦略】 2-a	校	小学校 0校 中学校 0校	小 4校 中 2校		A

判定:S…目標達成、A…基準値よりも実績値が向上、B…基準値よりも実績値が低下、C…統計上実績値の把握が不可能、D…既にKPIの測定を行っていない

確かな学力の向上	確かな学力向上のため、「授業づくり」「集団づくり」「習慣づくり」の3つの柱から取組を推進します。【総合戦略】
主な取り組み状況	・全国や県の学力調査の結果を踏まえ、各小中学校における課題を分析して3つの柱を基本とした志免町学力向上プランを策定し、町主催研修や実践交流会などを通して指導体制の改善や授業改善に取り組んだ。
課題	・「授業づくり」については、令和3年度の全国学力・学習状況調査において中学校は伸びがみられたが、小学校は令和元年度と比べて下回る結果となった。 ・「集団づくり」については、Q-Uにおいて、小学校は学校生活意欲の結果が令和2年度に比べて下回った。
R5年度取り組み方針	・引き続き学力向上プランの3つの柱に基づき、各学校の指導体制や指導方法の改善を進め、確かな学力を育成する基盤づくりに取り組む。 ・東中学校で指定研究を経て得られた「授業改善」や「組織マネジメント力の向上」に関する成果を各学校にも浸透させる。
体力の向上	児童生徒が運動やスポーツをする機会を充実させ、体を動かす習慣づくりの取組を推進します。【総合戦略】
主な取り組み状況	・各学校で計画的かつ継続的に「1校1取組」運動に取り組んだ。 ・志免町スポーツ推進委員の協力による小学校の体力測定を実施した。
課題	・新型コロナウイルス感染症の影響で、子どもたちの運動する機会が減り、さらに体育の授業、休み時間、放課後など様々な運動の機会において、友達と共に行うことが制限されている。 ・国の方針により、令和5年から令和7年の間で部活動の地域移行を完了させるようになった。
R5年度取り組み方針	・意図的に運動の機会を保障していくとともに、「1校1取組」や体育の授業などの中で、運動の楽しさを味わわせる工夫を行う。 ・引き続き、志免町スポーツ推進委員の協力による小学校の体力測定を実施する。 ・土日の部活動の地域移行に向けて検討を進める。

2-b 豊かな心を育てる	所管課
●道徳教育の充実	学校教育課

重要業績評価指標(KPI) 該当施策番号	単位	基準値 目標の方向性	R7目標値 R3実績値	実績値の年次推移	判定
地域や社会をよくするために何をすべきか考えることがある児童生徒の割合(小6・中3) 【総合戦略】 ※全国平均値を100とした時の達成率を記載	%	小 90.1 中 89.3	小・中とも 100以上		A
2-b			小 92.2 中 95.9		

判定:S…目標達成、A…基準値よりも実績値が向上、B…基準値よりも実績値が低下、C…統計上実績値の把握が不可能、D…既にKPIの測定を行っていない

道徳教育の充実	「ふるさと志免」を愛し、異文化を理解し、異なる価値観を受容する子どもを育てるため、自分ごととして「考え、議論する」道徳の授業を保護者に公開し、児童生徒の道徳性を育みます。【総合戦略】
主な取り組み状況	・令和3年度は「いのちを大切にする心」を育てることに重点を置き、全小中学校において「生命尊重」に関する道徳科の授業公開を保護者に対して行い、理解を図るとともに、全教職員に対しても命を大切にする道徳科の授業展開について研修を行い、道徳の授業の充実を図った。
課題	・「地域や社会をよりよくするために何をすべきか考えることがある」と回答している児童生徒の割合は全国と比較して低い状況にある。
R5年度取り組み方針	・令和4年度に始まったコミュニティスクールの取り組みに基づき、郷土を愛する意識を高める活動を充実させ、身の回りにあるものや人に感謝できる心を育成する。

2-c 安全で快適な教育環境を整える	所管課
●ICTを活用した教育環境の整備	学校教育課

重要業績評価指標(KPI) 該当施策番号	単位	基準値 目標の方向性	R7目標値 R3実績値	実績値の年次推移	判定
授業にICTを活用して指導できる教職員の割合 【総合戦略】 ※全国平均値を100とした時の達成率を記載	%	77.3	小・中とも 100以上		A
2-c			96.3		

判定:S…目標達成、A…基準値よりも実績値が向上、B…基準値よりも実績値が低下、C…統計上実績値の把握が不可能、D…既にKPIの測定を行っていない

ICTを活用した教育環境の整備	ICTを活用できる教育環境の整備を進め、ICTを活用した学習、指導方法の改善や小中学校のプログラミング教育の体系化を図るとともに、一人ひとりへの個別最適化された学びを保障します。【総合戦略】
主な取り組み状況	・一人一台端末や各教室に配置された電子黒板や書画カメラを活用し、全小中学校がICTを活用した授業をほぼ毎日行うことができ、児童生徒用のタブレットに関しては、毎日の教育課程外の時間に学習ソフトを活用して基礎学習に取り組んだり、発達段階に応じたタイピング練習を行ったりした。 ・オンライン授業も滞りなく実施できた。
課題	・必要に応じたICT機器の授業活用が少ない ・ICT活用に対する教員の得手、不得手があり、教員のICT活用能力向上に差がある。
R5年度取り組み方針	・どの教員も指導の必要に応じたICT機器の授業活用できる能力を身に付けられるように研修を行う。

基本目標2(総合戦略)

2-d 社会にはばたく力を育成する	所管課
●英語教育の充実 ●キャリア教育の推進	学校教育課

重要業績評価指標(KPI) 該当施策番号	単位	基準値 目標の方向性	R7目標値 R3実績値	実績値の年次推移	判定
英検3級程度以上の英語力を有する生徒の割合(中3) 【総合戦略】	%	70.7	小・中とも 100以上		S
※全国平均値を100とした時の達成率を記載		↑ 全国平均値 以上	113.2		
2-d					

判定:S…目標達成、A…基準値よりも実績値が向上、B…基準値よりも実績値が低下、C…統計上実績値の把握が不可能、D…既にKPIの測定を行っていない

英語教育の充実	児童生徒の英語コミュニケーションへの意欲や英語力を高めるため、小学校教員と中学校英語教員へ研修を啓発するとともに、ALTや学習ソフトの活用を推進します。【総合戦略】
主な取り組み状況	<ul style="list-style-type: none"> ・各学校にALTを配置した。 ・英語学習支援員の配置、英語力に応じた学習支援ソフトやICT機器の効果的な活用を通して、生徒の英語力の向上に努めた。 ・町の冬季の統一テストに小学6年及び中学3年生は英語科を取り入れ、児童生徒の英語力の向上を目指した。 ・小学低学年の希望者を対象に夏季休業中にイングリッシュ・デイ・キャンプを実施し、英語への興味関心を高めることに取り組んだ。
課題	なし
R5年度取り組み方針	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き英語力に応じた学習支援ソフトやICT機器の効果的な活用を通して、生徒の英語力を向上させる。 ・小学低学年から英語への興味関心を高める取り組みを充実する。 ・令和4年度から実施している英検を受験する生徒に対する受験料の補助を継続し、英語力及び学習意欲を向上させる。
キャリア教育の推進	自分で計画を立て、実行し、自分自身を振り返りながら、夢や目標をもつ子どもを育成するため、一人ひとりの「社会的・職業的自立」に向けて必要となる基盤や能力、態度を育てるキャリア教育を推進します。【総合戦略】
主な取り組み状況	<ul style="list-style-type: none"> ・オリンピックが開催されたのを機会に各学校では道徳科や総合的な学習の時間などで夢や目標を持つことについて考える時間を設定した。 ・中学校では高校の体験入学や出前授業などを積極的に行い、生徒に将来を実感できる活動を仕組んだ。
課題	・「将来の夢や目標を持っている」と回答した児童生徒の割合が令和元年度より下がり、かつ全国平均を下回っている。
R5年度取り組み方針	・児童生徒が夢や希望を持てる機会を工夫し、発達段階に応じたキャリア教育を推進する。

2-e 子どもの健全育成を推進する	所管課
●子どもの活動機会の提供	社会教育課

重要業績評価指標(KPI) 該当施策番号	単位	基準値 目標の方向性	R7目標値 R3実績値	実績値の年次推移	判定
町の行事や地域の活動、サークル活動などに参加した子どもの割合【総合戦略】	%	73.5	73.5		B
2-e		→	48.8		

判定:S…目標達成、A…基準値よりも実績値が向上、B…基準値よりも実績値が低下、C…統計上実績値の把握が不可能、D…既にKPIの測定を行っていない

子どもの活動機会の提供	子どもたちの豊かな人間性を育むため、多様な体験活動を経験できる体制を整備し、体験活動の機会を増加させます。【総合戦略】
主な取り組み状況	<ul style="list-style-type: none"> ・土曜日や春、夏休みの子どもの居場所や体験活動の場として、生涯学習館ジュニア講座の開催を予定していたが、新型コロナウイルスの影響で中止となった。 ・夏休みに実施される地域子ども教室は、新型コロナウイルスの影響で事業が中止となった。
課題	<ul style="list-style-type: none"> ・ジュニアの長期講座の企画が難しくなっている。 ・新型コロナウイルスの影響で、事業が中止や縮小となっている。
R5年度取り組み方針	<ul style="list-style-type: none"> ・ジュニア講座は、新型コロナウイルスへの感染防止を徹底しつつ、子どもたちが参加しやすい日程などを考えながら開催する。 ・子どもたちの豊かな人間性を育むため、体験活動の機会の一つである地域子ども教室の支援を継続する。

基本目標2(総合戦略)

2-f スポーツ活動を支援する	所管課
●スポーツ活動の振興	社会教育課

重要業績評価指標(KPI) 該当施策番号	単位	基準値	R7目標値	実績値の年次推移	判定
		目標の方向性	R3実績値		
スポーツ行事の参加者数	人	4,510	4,600		B
2-f		↗	30		

判定:S…目標達成、A…基準値よりも実績値が向上、B…基準値よりも実績値が低下、C…統計上実績値の把握が不可能、D…既にKPIの測定を行っていない

スポーツ活動の振興	すべての世代の人々が交流を深め、心身の健全な発達と豊かな人間性を育むことができるよう、スポーツ協会と連携し、スポーツ活動の機会をつくります。【総合戦略】
主な取り組み状況	<ul style="list-style-type: none"> ・町のスポーツ活動を広く推進しているスポーツ協会への運営サポートと補助金の交付を行った。 ・スポーツやレクリエーションの普及啓発を行うスポーツ推進委員会の事務局として、活動を支援した。
課題	・スポーツイベントやレクリエーションへの参加者が減少している。
R5年度取り組み方針	・スポーツ推進委員やスポーツ協会と連携して、スポーツイベントやレクリエーション等の情報提供やスポーツ活動の普及啓発に取り組んでいく。

2-g 生涯学習・文化活動を支援する	所管課
●生涯学習、文化活動の推進	社会教育課

重要業績評価指標(KPI) 該当施策番号	単位	基準値	R7目標値	実績値の年次推移	判定
		目標の方向性	R3実績値		
講座内容に満足している講座生の割合	%	97.9	99.0		B
2-g		↗	94.5		


判定:S…目標達成、A…基準値よりも実績値が向上、B…基準値よりも実績値が低下、C…統計上実績値の把握が不可能、D…既にKPIの測定を行っていない

生涯学習、文化活動の推進①	町民の生涯学習、文化活動への意欲を高めるため、文化協会と連携し、情報提供を行うとともに、文化祭などの成果を発表できる機会をつくります。【総合戦略】
主な取り組み状況	<ul style="list-style-type: none"> ・町文化活動の推進役として様々な活動(七夕美術展、チャリティカラオケ、文化講演会、響、文化祭芸能発表、芸術祭等)をしている文化協会に助成金を交付した。 ・町民の芸術文化の向上と町民の融和と連帯を目的に、文化協会や商工会等と連携して11月初旬に芸能発表・屋外イベント・作品展示等を実施しているが、コロナ禍のため中止した。 ・図書館で得られる知識や情報を提供するため、主に町民を対象に教養講座を開催予定だったが、コロナ禍のため中止した。 ・生涯学習館の講座では、受講生を増やすため、講座開催の周知についてホームページ、広報誌など、様々な手段で情報発信を行った。 ・「生涯学習館フェスタ」については、コロナ禍のため中止した。
課題	・講座の参加者が少なくなっている。
R5年度取り組み方針	・引き続き新型コロナウイルス感染症拡大防止を徹底しながら、町民が参加しやすい講座を開催する。
生涯学習、文化活動の推進②	町民が国際理解を深め、国際感覚を育むための講座などを開催します。【総合戦略】
主な取り組み状況	<ul style="list-style-type: none"> ・外国人のための日本語講座を開催した。 ・国際交流事業(イングリッシュプログラム)はコロナ禍のため実施できなかった。
課題	・現状の町が行っている国際交流事業(イングリッシュプログラム)はコロナ禍では実施が困難である。
R5年度取り組み方針	・コロナ禍でも実施可能な手段を検討し、実施する。

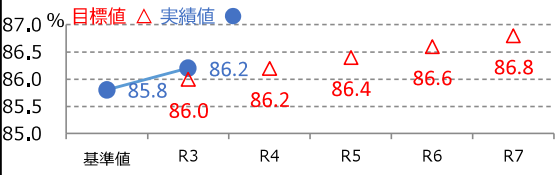
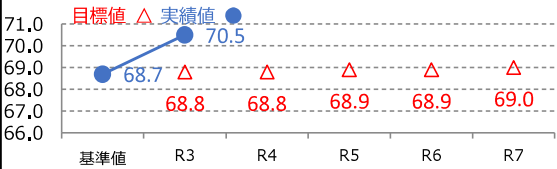
3. 検証委員会の評価

判定	検証委員会意見
○	<ul style="list-style-type: none"> ・学力調査の結果や講座の満足度などについて目標値を達成できておらず、取組の改善が必要である。 ・英検受験料の助成は、保護者や学生の立場から良い取組であると感じる。 ・コロナ禍でイベントの参加者数が大幅に減っているのはやむを得ないと考えられる。志免町は元々イベントが多いため、社会活動が正常化していくなかで、今後は元の水準に戻っていくことを期待したい。 ・KPI「町の行事や地域の活動、サークル活動などに参加した子どもの割合」について、最近の子どもは習い事や塾、部活動等で忙しいために、今後も低下するトレンドにあるのではないかと懸念される。

判定:◎…現状の取組みを推進すべきである、○…取組みの一部を改善する必要がある、△…取組みの大幅な見直しや新たな取組みを追加すべきである

総合戦略効果検証評価表 (事業実施年度:令和03年度)		第2期総合戦略 計画期間<<令和3年度~7年度>>	
基本目標	3.誰もが健康に生き生きと暮らすことができるまちをつくる	関係課	健康課、福祉課
関連するSDGsゴール			

1. 数値目標の達成状況

数値目標	単位	基準値	R3目標値	実績値の年次推移	判定
		目標の方向性	R3実績値		
自立高齢者(65歳以上で介護認定を受けずに生活している高齢者)の割合【総合戦略】	%	85.8	86.0		a
		↗	86.2		
心身がともに健康だと感じる町民の割合【総合戦略】	%	68.7	68.8		a
		↗	70.5		

判定:a…目標を達成している、b…目標をわずかに達成していない、c…目標を達成していない

2. 具体的な施策の実施状況と方向性

3-a 町民の健康意識を高め、健康管理・健康づくり活動を促進する	所管課
●健康づくりの啓発と活動機会の充実 ●心の健康づくりの啓発と人材育成	健康課

重要業績評価指標(KPI) 該当施策番号	単位	基準値	R7目標値	実績値の年次推移	判定
		目標の方向性	R3実績値		
日頃、健康のための取組(3項目以上)を行っている町民の割合【総合戦略】	%	64.2	67.8		S
3-a		68.1			

判定:S…目標達成、A…基準値よりも実績値が向上、B…基準値よりも実績値が低下、C…統計上実績値の把握が不可能、D…既にKPIの測定を行っていない

健康づくりの啓発と活動機会の充実①	「健康しめ21」に基づき、健康に関する意識向上を図り、ライフステージに応じた町民の主体的な健康づくりを支援します。【総合戦略】	
主な取り組み状況	<ul style="list-style-type: none"> ・自主的な健康づくりの推進の為、ウォーキング教室を開催し、啓発活動を実施した。 ・生活習慣病の予防や健康意識の向上を目的に、インセンティブ事業「90日間体重測定チャレンジ」にも取り組んだ。 	
課題	<ul style="list-style-type: none"> ・不特定多数の方が参加する、健康しめ21推進イベント(文化祭と同日開催)は、新型コロナウイルス感染症のまん延状況によっては、感染リスクが高まる為、開催が困難である。 ・健康づくりの意識や行動変容の取組は世代によって異なる。 	
R5年度取り組み方針	<ul style="list-style-type: none"> ・健康づくりの意識をライフステージに応じて高めるため、感染症対策に取り組みながら、ウォーキング教室の開催や、健康しめ21推進イベントを開催する。 ・生活習慣病の予防や健康意識を高める「90日間体重測定チャレンジ」を継続して行う。 	
健康づくりの啓発と活動機会の充実②	地域公民館など身近な場での健康づくりの機会を充実させます。【総合戦略】	
主な取り組み状況	<ul style="list-style-type: none"> ・例年は10町内会の食生活改善地域教室の活動を充実させるため、専門知識を持った講師(委託栄養士・運動指導員)を派遣しているが、コロナ禍のため実施できなかった。 	
課題	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染拡大の影響があり、自主活動を実施できていない教室が多い。 	
R5年度取り組み方針	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍においても、自主活動に取り組む意欲がある地域教室を支援する。 ・感染症対策に取り組みながら、地域公民館での出前講座を再開し、健康づくりの啓発活動を行う。 	
健康づくりの啓発と活動機会の充実③	食生活改善推進会による親子料理教室や小学校での食育教育などを通じた食育推進を支援します。【総合戦略】	
主な取り組み状況	<ul style="list-style-type: none"> ・例年は推進委員が中心となって、食育講座や健康づくりの推進活動が円滑に活動が行われるように支援しているが、コロナ禍のため実施できなかった。 	
課題	<ul style="list-style-type: none"> ・新たに推進員として活動する人材が不足している。 	
R5年度取り組み方針	<ul style="list-style-type: none"> ・継続して食育推進を支援できる体制を維持するため、ヘルスメイト養成教室を開催し、食生活改善推進員を担う人材を育成する。 ・引き続き、地域での親子料理教室などの食育推進活動がより充実した内容となるよう、講師として栄養士を派遣する。 	
心の健康づくりの啓発と人材育成	心の健康づくりについて、相談窓口の紹介などを行い、啓発するとともに、ゲートキーパーなどの自殺対策を支える人材を育成します。【総合戦略】	
主な取り組み状況	<ul style="list-style-type: none"> ・こころの健康づくり相談専用ダイヤルや精神保健福祉士による対面型相談を実施した。 ・町民及び役場職員を対象にしたゲートキーパー養成講座を開催した。 	
課題	<ul style="list-style-type: none"> ・精神障害者福祉手帳や自立支援医療の申請者は増加(令和元年度974件、令和3年度1,091件と117件の増加)しており、相談内容も複雑化している。 ・ゲートキーパー養成講座受講生が少ない。 	
R5年度取り組み方針	<ul style="list-style-type: none"> ・こころの健康づくり相談事業を継続して行い、利用者増加の為の周知活動に取り組む。 ・こころの健康づくりや自殺対策を推進するため、精神保健福祉士を配置し、対面等での随時相談や、関係機関との連携体制を整える。 ・本人や周知の方が早期にSOSに気付き、相談できるように、ゲートキーパー養成講座を開催し、受講済者を増やす。 	

3-b 地域で高齢者を見守り、支援する	所管課
●町民の互助意識の啓発と町民主体の見守りの支援 ●地域ネットワークの構築	福祉課

重要業績評価指標(KPI) 該当施策番号	単位	基準値	R7目標値	実績値の年次推移	判定
		目標の方向性	R3実績値		
暮らしやすい地域であると感じる 高齢者の割合【総合戦略】	%	58.7	62.9		S
3-b		↑	69.1		
地域生活に心配になることが ないと感じる高齢者の割合 【総合戦略】	%	12.9	15.3		S
3-b		↑	16.3		

判定:S…目標達成、A…基準値よりも実績値が向上、B…基準値よりも実績値が低下、C…統計上実績値の把握が不可能、D…既にKPIの測定を行っていない

町民の互助意識の啓発と 町民主体の見守りの支援	町民の互助に対する意識を啓発し、町民主体による見守りを支援します。【総合戦略】
主な取り組み状況	・高齢者見守り活動推進事業として、協定を結んだ町内会に、70歳以上の一人世帯及び75歳以上高齢者のみの世帯のなかで見守りに同意された方のリストを提供し、町民主体による見守り活動を支援した。 ・希望する町内会において、生活支援コーディネーターが生活支援体制整備の支援を行った。
課題	・高齢者が増加する一方、地域コミュニティの希薄化などにより、見守りや支援の対象となる高齢者の存在やニーズを把握することが困難になってきている。
R5年度取り組み方針	・見守り活動を行う町内会に対し引き続き情報提供を行う。 ・引き続き生活支援コーディネーターが希望する町内会に生活支援ニーズ調査や生活支援体制整備の支援を行う。
地域ネットワークの構築	地域ケア会議で地域課題を検討し、地域のネットワークを構築します。【総合戦略】
主な取り組み状況	・地域包括支援センター職員と地域の医療・介護の専門職と一緒に地域ケア個別会議を行った。 ・地域ケア個別会議で抽出された地域課題の解決策について、地域ケア推進会議で検討した。
課題	・地域課題を抽出し、地域ケア推進会議で検討したが、短期間で施策につなげることが難しく、課題解決に向けた具体的な取り組みにはつながらなかった。
R5年度取り組み方針	・地域ケア個別会議の参加者を拡充し、多様な視点で地域課題の抽出と解決策を検討する。 ・地域の課題を短期間で施策につなげることは難しいため、経過等を周知することで、地域ケア会議への理解を深め参加への意欲の向上や意識を高めることにつなげる。

3-c 高齢者の社会参加と生きがいづくりを支援する	所管課
●高齢者の交流場所の情報提供 ●高齢者の地域活動と社会活動の促進	福祉課

重要業績評価指標(KPI) 該当施策番号	単位	基準値	R7目標値	実績値の年次推移	判定
		目標の方向性	R3実績値		
シルバー人材センターへの加入人数 【総合戦略】	人	283	300		B
3-c			250		

判定:S…目標達成、A…基準値よりも実績値が向上、B…基準値よりも実績値が低下、C…統計上実績値の把握が不可能、D…既にKPIの測定を行っていない

高齢者の交流場所の情報提供	高齢者が地域活動に参加できるよう、地域の交流の場となる居場所の情報を提供します。【総合戦略】
主な取り組み状況	・志免町の居場所事例集を発行し、町内会や事業所、医療機関等に配布。居場所について周知した。 ・居場所や趣味活動等の問い合わせに随時情報提供した。
課題	なし
R5年度取り組み方針	・高齢者の居場所について、引き続き事例集や一覧表を作成し、周知していく。
高齢者の地域活動と社会活動の促進①	高齢者の地域活動を活性化するため、シニアクラブを支援します。【総合戦略】
主な取り組み状況	・シニアクラブ連合会総会の補助、シニアクラブの周知(広報、ホームページ)、補助金の交付等を行った。
課題	・定年延長等、高齢者の居場所について選択肢が増えていることや役員の負担が大きいこと等によって、新規加入者が少なく、会員の高齢化が進み、会員数が減少している。
R5年度取り組み方針	・引き続き広報・ホームページで活動状況や会員募集について周知する等支援していく。
高齢者の地域活動と社会活動の促進②	高齢者が就労を通して生きがいを感じながら地域社会で活躍できるよう、シルバー人材センターへの加入促進を図るため、事業活動を支援します。【総合戦略】
主な取り組み状況	・シルバー人材センターの周知(広報)、運営費の一部補助を行った。
課題	・定年延長等、高齢者の生き方の選択肢が多くなっており、新規入会者よりも退会者数が上回り、会員が減少している。
R5年度取り組み方針	・引き続き広報で活動状況や会員募集について周知する等支援していく。

3-d 介護予防と健康づくりによる自立した生活を支援する	所管課
●フレイルや閉じこもりの予防機会の提供	健康課

重要業績評価指標(KPI) 該当施策番号	単位	基準値	R7目標値	実績値の年次推移	判定
		目標の方向性	R3実績値		
公民館などでの介護予防教室に参加した高齢者の延べ人数 【総合戦略】	人	6,187	6,250		B
3-d		↗	201		


判定:S…目標達成、A…基準値よりも実績値が向上、B…基準値よりも実績値が低下、C…統計上実績値の把握が不可能、D…既にKPIの測定を行っていない

フレイルや閉じこもりの予防機会の提供	転倒予防、フレイル及び閉じこもり対策として、介護予防教室を住まいから歩いて通える公民館などで開催します。【総合戦略】
主な取り組み状況	・感染対策に留意しながら、保健センターで介護予防教室を開催し、理学療法士や栄養士、歯科衛生士等の専門職と共に、フレイル予防や、閉じこもりの予防に取り組んだ。 ・公民館開催の介護予防教室中止の町内会回覧裏面に、運動・口腔等の介護予防の方法を記載し、周知啓発を行った。
課題	・新型コロナウイルス感染症の影響で、保健センターのみの開催となり、教室参加者が減少している。 ・新型コロナウイルス感染症のまん延状況によっては、公民館での開催は困難である。
R5年度取り組み方針	・地域の医療機関と連携し、三密対策に留意しながら、公民館での介護予防教室を開催し、フレイル予防や、閉じこもり予防に取り組む。

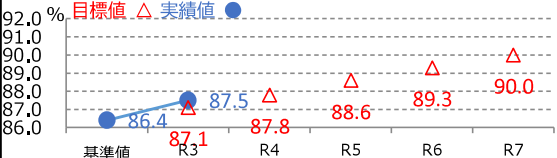
3. 検証委員会の評価

判定	検証委員会意見
○	<ul style="list-style-type: none"> ・シニアクラブやシルバー人材センターは、高齢化の進展や老後の選択肢の多様化により会員が少なくなっている。これは志免町だけでなく他の町でも見られる現象であるが、雰囲気づくりやネーミングなどイメージ戦略に加え、高齢者が求める新しい魅力的な働き場所づくりが必要ではないか。 ・KPI「地域生活に心配になることがないと感じる高齢者の割合」が16.3%である一方、心配になることがあると感じる高齢者が反対の割合で存在することを意識する必要があるのではないか。 ・KPI「公民館などでの介護予防教室に参加した高齢者の延べ人数」がコロナ禍によるやむを得ない減少であることを考慮すれば、現状の取組を推進すべきとの判断が妥当である。

判定:◎…現状の取り組みを推進すべきである、○…取り組みの一部を改善する必要がある、△…取り組みの大幅な見直しや新たな取り組みを追加すべきである

総合戦略効果検証評価表 (事業実施年度:令和03年度)		第2期総合戦略 計画期間<<令和3年度~7年度>>	
基本目標	4.ひとが集う、安心して暮らすことができる魅力的なまちをつくる	関係課	まちの魅力推進課、生活安全課、都市整備課、経営企画課、総務課
関連するSDGsゴール			

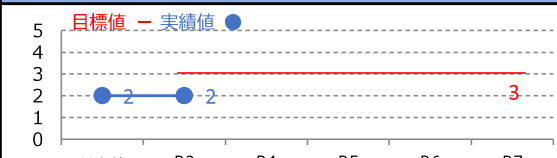
1. 数値目標の達成状況

数値目標	単位	基準値	R3目標値	実績値の年次推移	判定
		目標の方向性	R3実績値		
これからも志免町に住み続けたいと思う町民の割合	%	86.4	87.1		a
		↑	87.5		

判定:a…目標を達成している、b…目標をわずかに達成していない、c…目標を達成していない

2. 具体的な施策の実施状況と方向性

4-a まちの魅力を発信する	所管課
●イベントの情報発信と開催支援	まちの魅力推進課

重要業績評価指標(KPI) 該当施策番号	単位	基準値	R7目標値	実績値の年次推移	判定
		目標の方向性	R7実績値		
まちの魅力発信イベント開催数 【総合戦略】	件	2	3		B
4-a		↑	2		

判定:S…目標達成、A…基準値よりも実績値が向上、B…基準値よりも実績値が低下、C…統計上実績値の把握が不可能、D…既にKPIの測定を行っていない

イベントの情報発信と開催支援①	商工会や町内の団体などによる地域資源を活用したイベントなどの開催を支援します。【総合戦略】
主な取り組み状況	・商工会主催の「shoukouミニフェスタ」の開催を支援した。 ・シメサイ実行委員の「国際コメディシアターフェスティバル」、志免68の「タテコウ灯明Night」を特別名義後援として支援した。
課題	・コロナ禍でのイベント実施自体が困難である。
R5年度取り組み方針	・コロナ禍でも実施可能な手段を検討し、実施する。
イベントの情報発信と開催支援②	住民活動団体と連携し、まちを活性化するイベントなどを町内外へ発信します。【総合戦略】
主な取り組み状況	・中ノ坪公園のイルミネーション点灯を実施し、住民活動団体(太鼓とよさこい)の披露を行った。イルミネーションには、新しいものも追加した。
課題	・コロナ禍で、人が集まるイベントの実施が難しい。
R5年度取り組み方針	・コロナ禍でも実施可能なイベントを開催する。

基本目標4(総合戦略)

4-b 地域の商工業と新たな創業者の育成を支援する	所管課
●新規創業者の育成支援 ●創業や事業拡大の支援を目的とした町有地や公共施設の利活用の促進 ★チャレンジプロジェクト	まちの魅力推進課

重要業績評価指標(KPI) 該当施策番号	単位	基準値	R7目標値	実績値の年次推移	判定
		目標の方向性	R3実績値		
起業塾の参加者数 【総合戦略】	人	8	10		S
4-b		↗	15		
産業振興の視点で町有地や施設を 利活用した件数(計画期間内累計)	件	1	2		B
4-b		↗	0		

判定:S…目標達成、A…基準値よりも実績値が向上、B…基準値よりも実績値が低下、C…統計上実績値の把握が不可能、D…既にKPIの測定を行っていない

新規創業者の育成支援	糟屋南部3町商工会で策定した創業支援事業計画に基づき、商工会との連携による町内の新たな創業者の育成支援と情報発信を行います。【総合戦略】
主な取り組み状況	・3町(宇美・志免・須恵)合同の創業支援に関する「起業塾」をコロナ禍のため日程を短縮し開催した。
課題	・参加者は増加傾向にあるが、町内での起業に繋がっていないケースも見られる。 ・商工会から、創業支援を受けた者が実際に起業する際の支援について要望がある。
R5年度取り組み方針	・引き続き、3町合同の創業支援に関する「起業塾」を行う。 ・特定創業支援事業を受けた者に対する支援の要望について、糟屋南部3町で協議をすすめる。
創業や事業拡大の支援を 目的とした町有地や 公共施設の利活用の促進	町内の事業者の創業や事業拡大への町有地や公共施設の利活用を促進する機会をつくり、事業者の育成を支援します。【総合戦略】
主な取り組み状況	・旧西日本シティ銀行志免西支店の空き店舗を活用する方向で協議をおこなった。
課題	・町有地や公共施設で利活用できる場所が特定できない。
R5年度取り組み方針	・引き続き、町有地や公共施設で利活用できる場所を検討する。

基本目標4(総合戦略)

4-c 地域ぐるみの防犯活動の促進と防犯環境を整える	所管課
●地域の防犯機能の強化 ●防犯パトロールの実施と防犯灯の設置支援 ●管理 不全な空き家対策の実施	生活安全課

重要業績評価指標(KPI) 該当施策番号	単位	基準値	R7目標値	実績値の年次推移	判定
		目標の方向性	R3実績値		
日常から防犯対策を行っている町民の割合【総合戦略】	%	87.0	87.8		B
4-c		82.8			
刑法犯認知件数【総合戦略】	件	241	210		S
4-c		204			

判定：S…目標達成、A…基準値よりも実績値が向上、B…基準値よりも実績値が低下、C…統計上実績値の把握が不可能、D…既にKPIの測定を行っていない

地域の防犯機能の強化	志免町地域安全安心センターを拠点として、地域の防犯機能を強化します。【総合戦略】
主な取り組み状況	<ul style="list-style-type: none"> ・地域防犯の拠点として「安全・安心センター」内に志免交番があり、定期的に関連協議会に参加し、粕屋警察署管内・志免交番管内の犯罪及び交通事故について情報共有を行った。 ・地域へは「防犯ふくおか」による防犯活動等、「交番だより」による管内の状況と注意をお知らせするために、町内会での回覧を依頼した。 ・かすや中南部広域消費生活センターでは消費者問題の相談に対応した。
課題	<ul style="list-style-type: none"> ・町民一人ひとりの防犯意識は高いものの、低下傾向にある。 ・犯罪被害を受ける高齢者が増加している。
R5年度取り組み方針	・町民一人ひとりが防犯対策ができるよう粕屋警察署・志免交番と協力した取り組みや防犯指導員による出前講座、消費生活相談員による出前講座、広報・回覧等で「自助、共助」の方法についての啓発を行う。
防犯パトロールの実施と防犯灯の設置支援	防犯指導員による青色回転灯付きパトロールカーでの地域防犯パトロールを行うとともに、地域の防犯灯の設置を支援します。【総合戦略】
主な取り組み状況	<ul style="list-style-type: none"> ・児童生徒の登下校時間に防犯指導員が青色回転灯付きパトロールカーで町内を巡回した。 ・地域における犯罪防止のため、町内会が設置した防犯灯の設備費及び電気料金の一部を支援した。
課題	・町内会が設置した防犯灯を地球環境への負荷の少ない省エネルギーのLED防犯灯に取り換えたが、経年劣化で交換が必要になり、町内会が交換に要する費用負担が大きい。
R5年度取り組み方針	・現在の防犯灯の補助要綱を見直し、町内会の負担が軽減されるよう支援を行う。
管理不全な空き家対策の実施	管理不全な状態で放置されている空き家の所有者に、適正に管理するよう助言や指導を行うとともに、管理不全な空き家を早期に把握するため、防犯指導員による町内巡回を実施し、地域住民からの情報提供を呼びかけます。【総合戦略】
主な取り組み状況	・町内会や近隣の町民による空き家の情報提供を受け職員が現地確認を行い、管理不全な空き家については、所有者に適正管理の指導・助言を行った。
課題	・経済的な負担等で空き家の所有者による適正な管理が進まない。
R5年度取り組み方針	・町の空家等対策の指針となる空家等対策計画を策定し、管理不全の空き家の解消に取り組む。

4-d 災害時に迅速に対応できる防災体制を確立する	所管課
●消防団員の確保 ●自主防災組織の活動支援と人材育成	生活安全課

重要業績評価指標(KPI) 該当施策番号	単位	基準値 目標の方向性	R7目標値 R3実績値	実績値の年次推移	判定
日常から防災対策・準備している町民の割合【総合戦略】	%	68.1	69.0		S
4-d		↑	73.2		
消防団員の人数【総合戦略】	人	170	180		B
4-d		↑	158		
自主防災組織設置数【総合戦略】	組織	26	27		B
4-d		↑	26		

判定:S…目標達成、A…基準値よりも実績値が向上、B…基準値よりも実績値が低下、C…統計上実績値の把握が不可能、D…既にKPIの測定を行っていない

消防団員の確保	地域防災力の要となる消防団員を確保します。【総合戦略】
主な取り組み状況	<ul style="list-style-type: none"> 消防団員の活動内容を知ってもらうために、広報誌やホームページにて周知した。 消防団員確保のため、勧誘活動のほかに、分団管轄の企業にもポスター掲示や社員紹介依頼のために訪問し、さらに、消防団員募集のパンフレットを作成して、町の行事等で配布した。
課題	<ul style="list-style-type: none"> 消防団員が減少している。
R5年度取り組み方針	<ul style="list-style-type: none"> 引き続き、勧誘活動のほか、団員募集のポスター掲示や社員紹介依頼のため町内の事業所訪問、消防団員募集のパンフレットを町の行事等で配布し、また、消防団に関心を持ってもらうように消防団の活動内容を広報誌やホームページにて周知する。 女性の持つソフトな面を活かして、町民に対する防災教育及び応急手当の普及指導等の活躍が期待される女性消防団を設置する。
自主防災組織の活動支援と人材育成	自主防災組織の設置を促進するとともに、活動支援を行います。また、自主防災組織の中心となる人材を育成します。【総合戦略】
主な取り組み状況	<ul style="list-style-type: none"> 出前講座等を通して地域における自主防災組織の結成促進を行った。 NPO法人との協働事業で、自主防災組織の活動支援を行った。 自主防災組織の中心となる町内会長を含めた役員に、活動内容の助言等を行った。
課題	<ul style="list-style-type: none"> 町内会役員の交代により、結成後の実効性のある活動の継続が難しい。
R5年度取り組み方針	<ul style="list-style-type: none"> 協働事業である志免町地域防災力アップ事業は令和4年度で終了するが、引き続きNPO法人と連携して、地域防災の要となる自主防災組織の結成、育成等の支援を行う。

4-e 快適な住環境を整える	所管課
●地域交通の利便性の向上 ●時代と地域特性にあった建築規制の見直し	都市整備課

重要業績評価指標(KPI) 該当施策番号	単位	基準値	R7目標値	実績値の年次推移	判定
		目標の方向性	R3実績値		
巡回バスの利用者数【総合戦略】	人	82,330	85,000		B
4-e		↑	51,116		

判定:S…目標達成、A…基準値よりも実績値が向上、B…基準値よりも実績値が低下、C…統計上実績値の把握が不可能、D…既にKPIの測定を行っていない

地域交通の利便性の向上	町内公共施設などを利用する際の利便性向上のため、地域公共交通に係る専門部署を設けて、巡回バスを運行するとともに、時代やニーズにあった町内の交通手段について調査、研究します。【総合戦略】
主な取り組み状況	<ul style="list-style-type: none"> 福祉巡回バス運行事業の所管を福祉課から経営企画課に移管し、公共交通について総合的に推進する体制を整えた。 福祉巡回バスの利用状況や課題を把握するため、利用者に対し乗り込み調査を実施した。 近隣自治体で運行しているオンデマンドバスを視察し、志免町への導入の可能性について研究した。
課題	<ul style="list-style-type: none"> 福祉巡回バスについては、バス車両の老朽化により、故障頻度が増え修繕費用が増加している。 乗り込み調査の結果、福祉巡回バスのルートやダイヤ等運行面の改善について利用者の意見が多かったが、定時定路線での運行形態では更なる利便性の向上は困難である。
R5年度取り組み方針	<ul style="list-style-type: none"> 町民が安全かつ快適に福祉巡回バスを利用できるよう、車両の保全及び運行業務委託事業者への指導を確実に行う。 地域公共交通会議における交通関係者の合意のもと、デマンド型交通の実証運行に向けた準備を進める。
時代と地域特性にあった建築規制の見直し	高齢化がすすむ戸建ての住宅団地において、多世帯住宅や平屋住宅、バリアフリー住宅を建築しやすくするなど、時代と地域特性にあった建築規制の見直しを行います。【総合戦略】
主な取り組み状況	先行自治体担当者に見直し手法等を尋ねる等、見直しに向けての事例研究を行った。
課題	見直し実現には、見直し案策定、県協議、都市計画決定手続き等に数年単位での期間を要する。
R5年度取り組み方針	先行自治体の事例を参考に、早期に見直し案を取りまとめる。

4-f 健全な財政運営を行う	所管課
●ふるさと納税の充実	経営企画課

重要業績評価指標(KPI) 該当施策番号	単位	基準値	R7目標値	実績値の年次推移	判定
		目標の方向性	R3実績値		
ふるさと納税寄附額【総合戦略】	円	6億 5千万	9億		A
4-f		↑	7億 8千万		

判定:S…目標達成、A…基準値よりも実績値が向上、B…基準値よりも実績値が低下、C…統計上実績値の把握が不可能、D…既にKPIの測定を行っていない

ふるさと納税の充実	外部資金を獲得するため、従来のふるさと納税を充実させるとともに、クラウドファンディング型ふるさと納税や企業版ふるさと納税といった新たな取組を活用します。【総合戦略】
主な取り組み状況	<ul style="list-style-type: none"> ふるさと納税について、ポータルサイトの追加や町内外での返礼品提供事業者の新規開拓を進めた。 内閣府による地域再生計画の認定を受け、企業版ふるさと納税を募集できる環境を整え、募集を開始した。
課題	<ul style="list-style-type: none"> 令和3年12月以降、人気返礼品の在庫の確保が難しくなり、前年と比較してふるさと納税の寄附額が減少している。 クラウドファンディング型ふるさと納税や企業版ふるさと納税の対象となる事業が少ない。
R5年度取り組み方針	<ul style="list-style-type: none"> 事務代行事業者と協力して、返礼品の在庫確保に向けて取り組むとともに、返礼品提供事業者の新規開拓を進める。 クラウドファンディング型ふるさと納税や企業版ふるさと納税の対象となる事業の企画について、各課と連携して取り組む。

4-g 行政サービスの向上と情報化を進める	所管課
●ICTを活用した行政サービスの推進と行政運営の効率化	総務課

重要業績評価指標(KPI) 該当施策番号	単位	基準値	R7目標値	実績値の年次推移	判定
		目標の方向性	R3実績値		
行政サービスに満足している町民の割合【総合戦略】	%	69.3	70.0		S
4-g		↗	76.0		

判定:S…目標達成、A…基準値よりも実績値が向上、B…基準値よりも実績値が低下、C…統計上実績値の把握が不可能、D…既にKPIの測定を行っていない

ICTを活用した行政サービスの推進と行政運営の効率化①	町民の多様なライフスタイルや新しい生活様式に対応できるよう、行政手続きのオンライン化やSNSによる情報発信などICTを活用した行政サービスを行います。【総合戦略】
主な取り組み状況	<ul style="list-style-type: none"> 引越しワンストップサービスや公共施設利用のための予約システムについてオンライン化を検討した。 SNSによる情報発信については、町公式LINEを令和4年3月から開始した。
課題	<ul style="list-style-type: none"> 子育てや介護分野以外の手続きについてはオンライン化できていない。 料金が発生する手続きについて、料金収納に関して現金しか対応しておらず、一連の手続きをオンラインのみで完結できない。
R5年度取り組み方針	<ul style="list-style-type: none"> 令和4年度にオンライン化の一環として、子育てや介護分野全26手続のオンライン化や引越しワンストップサービスを進めたため、それ以外の分野におけるオンライン化を推進する。 各種キャッシュレス決済収納環境を整備し、公共施設予約システムの運用を開始するとともに、その環境を活用した各種手続のオンライン化の検討を行う。
ICTを活用した行政サービスの推進と行政運営の効率化②	効率的な行政運営を行うため、ICTを活用した業務のシステム化とネットワーク化を行います。【総合戦略】
主な取り組み状況	<ul style="list-style-type: none"> ネットワーク機器を更改し、業務の効率的で柔軟な運用を可能とする環境を整備した。 財務会計及び文書管理システムについて、電子決裁の導入を進めた。 現行の業務システムについては、令和4年9月までの契約であったが、令和7年度の標準化に向けて3年間延長することとした。
課題	<ul style="list-style-type: none"> ネットワーク環境を整備したものの、テレワーク等DXを進めていく上で、現状の固定電話等では効率的で柔軟な運用ができない。 令和7年度から始まる標準化の対象となる業務システムについてカスタマイズ機能の整理を行い、標準化の対象とならない業務システムについてシステムの再構築を図る必要がある。
R5年度取り組み方針	<ul style="list-style-type: none"> 効率的かつ柔軟に業務を運用するため、老朽化した電話交換機等を更改する。 財務会計及び文書管理システムについて、電子決裁の運用を開始する。 標準化されたシステムを導入するための準備を進め、併せて業務フローの見直し等業務改革(BPR)を行う。

3. 検証委員会の評価

判定	検証委員会意見
○	<ul style="list-style-type: none"> 起業塾の参加者数は多いが、志免町では空き店舗が少なく、福岡市で起業するという状況にある。福岡市では起業する際に財政支援を受けることができるため、志免町で起業する際のメリットが感じられるような施策が必要である。 コロナ禍でイベントが少なく、メディアが取材し情報を発信することができていない。地域情報としてピンポイントに地区の活動に密着した取材を行い、町の良さを放映している事例もあるため、検討してはどうか。 地域の特産品をクラウドファンディングで紹介し、地域の観光などにつながるような取組や、ふるさと納税の返礼品提供事業者の開拓について、金融機関が協力できることもあるため、積極的にお声かけいただきたい。 福岡市に隣接し、福岡空港に近い立地であることをまちの魅力に繋げられないか、検討されたい。

判定:◎…現状の取り組みを推進すべきである、○…取り組みの一部を改善する必要がある、△…取り組みの大幅な見直しや新たな取り組みを追加すべきである